

平成25年度

にかほ市一般会計・特別会計歳入歳出決算審査意見書
にかほ市基金運用状況審査意見書

にかほ市監査委員

監 発 一 9

平成26年8月18日

にかほ市長 横 山 忠 長 様

にかほ市監査委員 佐 藤 正 行

にかほ市監査委員 佐 藤 文 昭

平成25年度にかほ市一般会計・特別会計歳入歳出決算
及び基金の運用状況の審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第241条第5項の規定により審査に付された、平成25年度にかほ市一般会計・特別会計歳入歳出決算並びに基金の運用状況について審査したので、その結果について次のとおり意見を提出する。

目 次

にかほ市一般会計・特別会計決算及び基金の運用状況審査意見

各会計決算審査意見

審査の対象、期間、方法	1
審査の結果及び意見	1

決算審査概要

1. 各会計の決算総額	7
2. 財政指数の推移	8
3. 市債現在高の状況	10

●一般会計

1. 決算の概要	11
(1) 決算総額	11
(2) 決算収支の状況	11
2. 歳 入	12
(1) 歳入決算状況	12
(2) 歳入款別決算状況	13
(3) 歳入財源別比較表	14
3. 歳 出	16
(1) 歳出決算状況	16
(2) 歳出款別決算状況	17
(3) 性質別支出済額の状況	19

●特別会計

1. 特別会計総計決算の概要	20
2. 各会計の概要	21
(1) 国民健康保険事業特別会計事業勘定	21
(2) 国民健康保険事業特別会計施設勘定	24
(3) 後期高齢者医療特別会計	26
(4) 簡易水道特別会計	29
(5) 公共下水道事業特別会計	31
(6) 農業集落排水事業特別会計	34
実質収支に関する調書	37
財産に関する調書	38
基金運用状況審査意見	41

凡 例

- 1 文中及び表中の千円、万円単位等の金額、比率は原則として表示単位未満を四捨五入した。従って、内訳の計が合計と一致しない場合もある。
- 2 表中の記号「△」はマイナスを、「－」は該当数値のないものを表す。

各會計決算審查意見
決算審查概要

平成25年度 一般会計・特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

◇一般会計

平成25年度にかほ市一般会計歳入歳出決算

◇特別会計

平成25年度にかほ市国民健康保険事業特別会計事業勘定歳入歳出決算

平成25年度にかほ市国民健康保険事業特別会計施設勘定歳入歳出決算

平成25年度にかほ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

平成25年度にかほ市簡易水道特別会計歳入歳出決算

平成25年度にかほ市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算

平成25年度にかほ市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

第2 審査の期間

平成26年7月3日から平成26年8月11日まで

第3 審査の方法

審査に付された各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成されているかを確認、これらの正確性を検証するため、関係諸帳簿その他証書類との照合のほか、それぞれ所管課の説明を聴取し、予算の執行状況の適否について審査した。

第4 審査の結果及び意見

審査に付された各会計歳入歳出決算及び決算付属書類は、いずれも関係法令に基づいて作成されており、その計数は関係諸帳票類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

1 決算総額について

本年度の一般会計の決算額は、歳入が前年度より3.2%増の156億8,011万9千円、歳出が3.4%増の154億1,001万円となっている。

これに特別会計を加えた決算の総額では、歳入が3.8%増の211億1,482万8千円、歳出が4.3%増の206億6,189万7千円となっており、いずれも前年

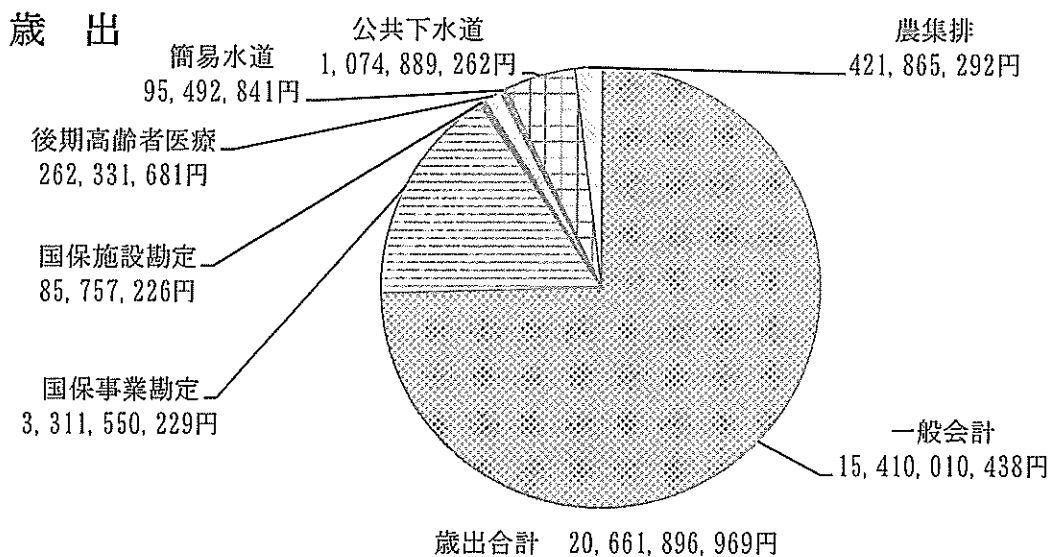
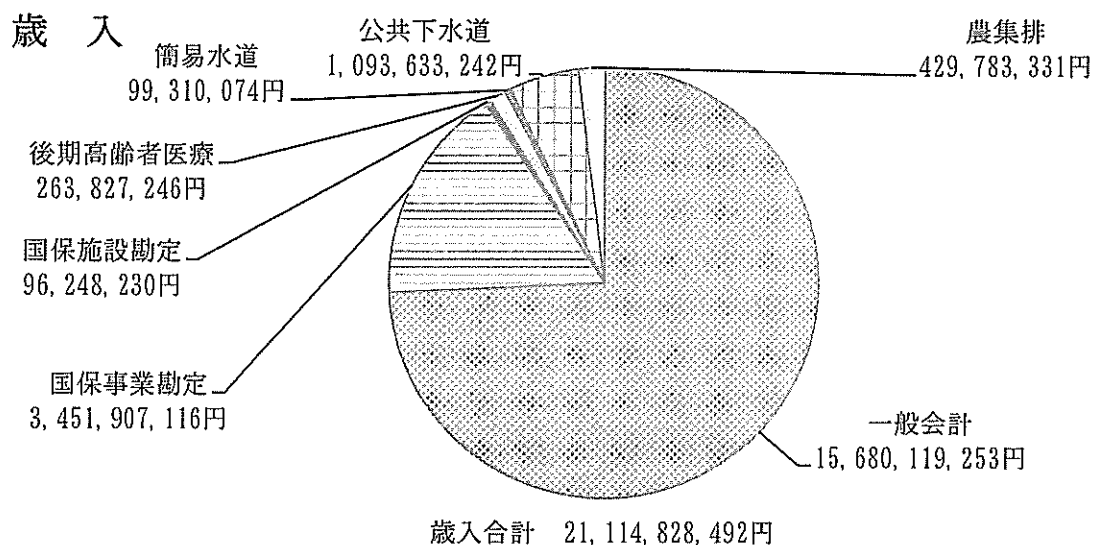
度を上回っている。

一般会計では、歳入歳出差引額（形式収支）が２億７，０１０万９千円となり、前年度の歳入歳出差引額２億９，２５２万５千円を下回っている。

また、翌年度への繰越財源が前年度は７，４８４万２千円となっていたが、本年度は１，４０３万９千円となっており、歳入歳出差引額から翌年度への繰越財源を控除した実質収支額は、前年度より３，８３８万７千円増加の２億５，６０７万円の黒字となっている。（Ｐ１１参照）

これに特別会計を加えた実質収支の総額では、前年度の４億５，６６４万７千円から２，７７５万５千円減少し、４億２，８８９万２千円の黒字となっている。（Ｐ３７参照）

平成２５年度一般会計・特別会計決算構成図



2 一般会計における財政状況について

単年度収支は、平成25年度の実質収支2億5,607万円から、平成24年度の実質収支2億1,768万3千円を差引いて3,838万7千円の黒字となっている。

平成25年度末における財政調整基金残高は、23億5,667万3千円となっている。また起債の繰上償還金として、前年度より2,529万1千円増の7億618万円を支出している。

単年度収支に積立金、繰上償還金、積立金取崩し額を加減した実質単年度収支は、10億7,924万3千円の黒字となっている。

平成25年度末市債残高は、前年度比5億2,213万5千円減少し、189億1,415万円となっている。基金については、前年度比7億1,096万3千円増の53億7,649万4千円となっている。

市債残高から基金を差引くと、平成24年度末147億7,075万4千円から、平成25年度末は135億3,765万6千円となっている。

3 決算における各種財政指数について

当該決算における各種財政指数を前年度と比較すると、実質収支比率が0.4ポイント、経常一般財源等比率が2.0ポイント、公債費負担比率が0.7ポイントそれぞれ上昇し、財政力指数が0.007ポイント、経常収支比率が2.3ポイント、義務的経費比率が1.8ポイントそれぞれ低下している。

財政指数	平成25年度	平成24年度	平成23年度	類似団体 平均値
実質収支比率（％）	2.8	2.4	3.4	6.1
財政力指数	0.385	0.392	0.419	0.45
経常収支比率（％）	81.8	84.1	84.1	88.0
経常一般財源等比率（％）	95.9	93.9	94.4	94.1
義務的経費比率（％）	45.3	47.1	47.4	—
公債費負担比率（％）	22.1	21.4	22.4	—

*類似団体平均値は平成24年度決算値による

特に歳入構造の安定性を計る「経常一般財源等比率」、財源構造の弾力性を計る「経常収支比率」はともに改善傾向にある。

また、財政構造の弾力性を計る「公債費負担比率」については、概ね横ばいで推移している。

4 一般会計歳入について

一般会計の収入済額を前年度と比較すると、自主財源が2億1,052万2千円(4.7%)減の42億8,281万9千円、依存財源が6億9,941万2千円(6.5%)増の113億9,730万円となっている。合計では4億8,889万円(3.2%)増の156億8,011万9千円となっている。

内容別に見ると、自主財源の減少については、市税が1億8,130万3千円(6.6%)増の29億2,779万5千円となっている。これは、市民税個人分は給与所得等の減少により減となったものの、市民税法人分は円安を背景に自動車向け等の電子部品の販売が好調だったことなどが、増収の主な要因となっている。また、繰入金は4億3,956万7千円(82.8%)減の9,107万7千円となっている。これは前年度に基金を廃止したことにより、繰入額が一時的に増加したことによる。

依存財源では、地方交付税が8,575万5千円(1.5%)増の59億939万5千円となっている。これは基準財政需要額が合併特例債や臨時財政対策債の元金償還開始分が算入したことなどにより微増となっている。国庫支出金は3億2,473万円(22.8%)増の17億4,664万7千円、市債は5,168万6千円(3.0%)減の16億4,328万8千円となっている。このうち、国庫支出金は地域の元気臨時交付金及び社会資本整備総合交付金の影響により大幅に増加している。

県支出金は、緊急雇用創出臨時対策基金事業等の増加により3億5,470万9千円(29.6%)増の、15億5,416万3千円となっている。

また本年度より、管理運用に余裕のある基金について、これまでの定期預金や譲渡性預金から国債の購入へ変更したことで、より有利な活用に取り組んだことは評価するものである。今後も、安全・確実な方法で、収入の確保に努められたい。

収入未済額については、前年度より241万2千円(1.2%)増の2億10万6千円となっている。

未収金対策は、自主財源確保のための重要課題であることから、回収にあたっては、滞納者個々の現状把握に努めながら、効率的かつ効果的な取り組みに期待している。

本年度、自治体債権管理研修会を開催したことは、今後の債権管理の向上に繋がるものである。研修の効果は、今後発揮されるものであり、収納に係る全職員が参加出来るような体制を取られる事で「市収納対策推進本部・市収納対策推進委員会」の機能強化に資することを期待する。

不納欠損額については、総額で前年度比627万8千円(33.2%)減の1,261万9千円となっている。なお、不能欠損処分に当たっては、十分な調査の上、慎重かつ適正に対処されたい。

5 一般会計歳出について

一般会計の支出済総額を前年度と比較すると、5億1,130万6千円(3.4%)増の154億1,001万円となっている。

これを性質別に見ると、消費的経費については1,760万6千円(0.2%)増の79億412万4千円となっている。このうち扶助費では3,319万5千円(1.5%)減の21億9,765万円となっており、保育所運営費の減によるものである。補助費等は9,068万円(9.0%)減の9億1,825万2千円となっている。これは前年度に、企業等の農業参入支援事業補助金や、暴風被害による農林水産業復旧支援事業補助金などの一時的な支出があったことによるものである。物件費は2億3,057万8千円(11.4%)増の22億5,908万2千円となっており、これは緊急雇用創出臨時対策基金事業の増などによるものである。

投資的経費では、6億4,615万6千円(31.3%)増の27億1,362万7千円となっている。このうち普通建設事業の補助事業は、道路橋梁新設改良にかかる社会資本整備総合交付金事業(繰越分)及び、熱回収施設整備の循環型社会形成推進交付金事業などにより、3億6,045万5千円(43.9%)増の11億8,097万4千円となっている。

その他の経費では、1億5,245万6千円(3.1%)減の47億9,225万9千円となっている。このうち公債費では、任意の繰上償還等により5,888万2千円(2.5%)増の24億3,293万6千円となっている。また、積立金では、前年度に基金の整理統合による大幅な積み増しを行ったことにより、2億5,338万3千円(30.2%)減の5億8,426万7千円となっている。

6 特別会計について

6特別会計の決算総額は、歳入が前年度より2億8,386万9千円(5.5%)増の54億3,470万9千円、歳出が3億4,251万円(7.0%)増の52億5,188万7千円となっている。

この結果、歳入歳出差引額(形式収支)は1億8,282万2千円となり、前年の歳入歳出差引額2億4,146万4千円を下回っている。また翌年度への繰越額を控除した実質収支額では、前年度より6,614万2千円減の1億7,282万2千円となっている。

各会計別の実質収支については、6特別会計において黒字決算となっている。

特別会計の収入未済額は、前年度より361万7千円(2.0%)減少し、総額で1億7,421万3千円となっている。このうち最も多いのが国民健康保険事業(事業勘定)で、総額の92.8%を占めているが、前年度と比較して409万7千円減少してい

る。

また、特別会計の不納欠損額は、前年度2, 230万5千円から1, 306万3千円(58.6%)減少し、924万2千円となっている。

未収入金対策については、一般会計と情報を共有し、適切な実態の把握や綿密な計画性を持ち、さらに改善に努力を傾けるよう望むものである。

7 むすび

わが国の経済は、消費税率の引き上げの影響による振れを伴いつつも、基調的には緩やかな回復を続けており、国内需要が堅調に推移することで、労働需要の改善や賃金が上昇する傾向も見られ景気の回復が期待されている。地域経済においても緩やかに持ち直してきているが、本市においては景気の回復が実感できない状況にある。

また、一昨年TDKの生産拠点再編に伴ない、緊急雇用創出臨時対策事業等を展開しているが今だに厳しい雇用情勢が続いている。

本市の財政状況は、収入面では地方交付税もピークを迎え、自主財源の根幹をなす市税が前年比で5年ぶりに微増したものの、人口減少や地域経済の低迷により、大幅な税収回復は期待出来ない状況にある。

このような厳しい財政状況の中にあっても「にかほ市総合発展計画」によるまちづくりと人口減少社会への対応など新たな行政課題への取り組みも求められていることから、安定した財源の確保に努め、第2次行政改革の推進と健全な財政運営に努める必要がある。

最後に、地方公共団体の果たすべき役割が今後拡大していくことが見込まれる中で、事務の適法性、効率性、有効性等をこれまで以上に確保するためには、リスクを予防し、抑制することが重要であり、その観点から定期監査においても重視してきた職員の意識改革、法令遵守の徹底、情報の共有、内部統制体制の確立が不可欠である。

今後とも、にかほ市が「住みたいまち」へ成長するために、市民と行政が知恵を出し合い、協働によるまちづくりの実現に向けて努力されることを望むものである。

平成 2 5 年度決算審査概要

1. 各会計の決算総額

一般会計・特別会計の年度別決算額の推移は、次のとおりである。

(単位：円、％)

年 度	区 分	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	歳入歳出差引額
2 5	一 般	15,680,119,253	15,410,010,438	270,108,815
	特 別	5,434,709,239	5,251,886,531	182,822,708
	計	21,114,828,492	20,661,896,969	452,931,523
2 4	一 般	15,191,229,384	14,898,704,122	292,525,262
	特 別	5,150,840,621	4,909,376,411	241,464,210
	計	20,342,070,005	19,808,080,533	533,989,472
比 較	一 般	488,889,869	511,306,316	△ 22,416,447
	特 別	283,868,618	342,510,120	△ 58,641,502
	計	772,758,487	853,816,436	△ 81,057,949
増減率	一 般	3.2	3.4	△ 7.7
	特 別	5.5	7.0	△ 24.3
	計	3.8	4.3	△ 15.2

平成 2 5 年度一般会計・特別会計総計決算額は、歳入総額 2 1 1 億 1, 4 8 2 万 8, 4 9 2 円で、前年度に比較して 7 億 7, 2 7 5 万 8, 4 8 7 円 (3.8%) 増、歳出総額 2 0 6 億 6, 1 8 9 万 6, 9 6 9 円で、前年度に比較して 8 億 5, 3 8 1 万 6, 4 3 6 円 (4.3%) 増となっている。

なお、歳入歳出差引額は 4 億 5, 2 9 3 万 1, 5 2 3 円で、前年度に比較して 8, 1 0 5 万 7, 9 4 9 円 (15.2%) 減となっている。

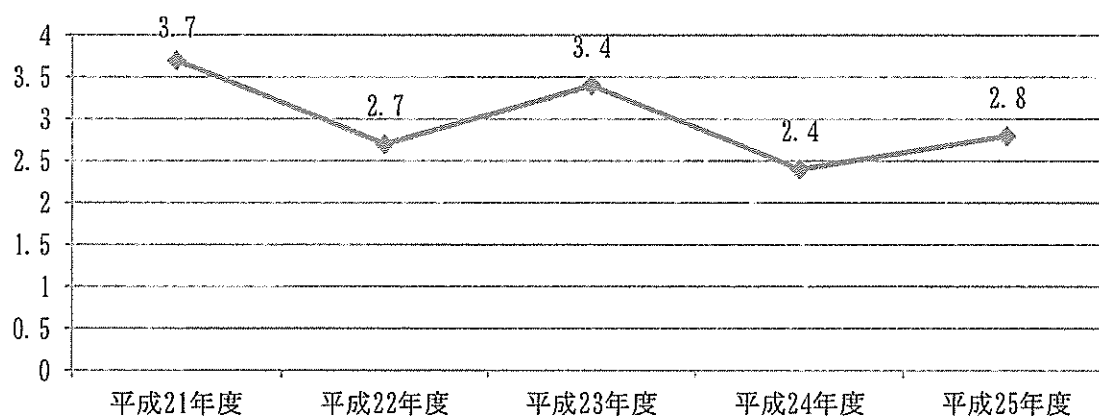
2. 財政指数の推移

普通会計における主な財政指数の推移は、次表のとおりである。

財 政 指 数	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較
①実 質 収 支 比 率 (%)	2.8	2.4	0.4
②財 政 力 指 数	0.385	0.392	△ 0.007
③経 常 収 支 比 率 (%)	81.8	84.1	△ 2.3
④経常一般財源等比率 (%)	95.9	93.9	2.0
⑤義 務 的 経 費 比 率 (%)	45.3	47.1	△ 1.8
⑥公 債 費 負 担 比 率 (%)	22.1	21.4	0.7

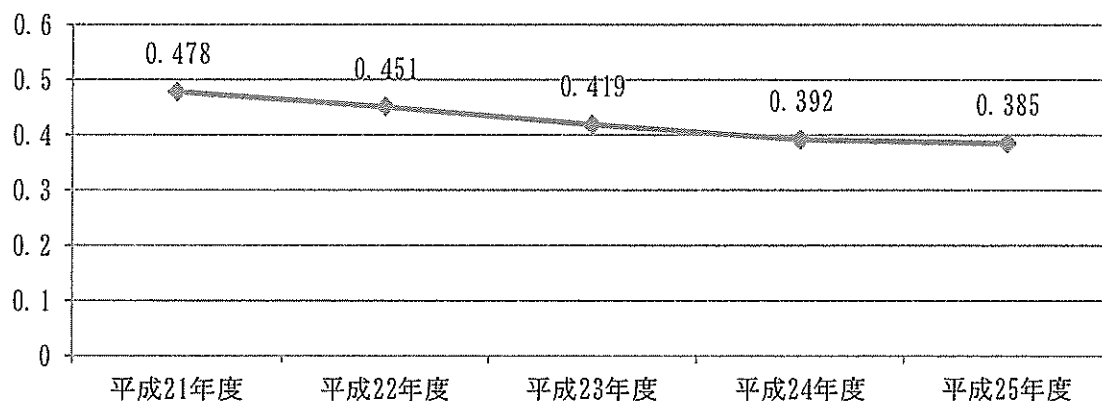
- ① 実質収支比率は、財政運営の健全性を判断するために用いられる指数であり 3～5 %が望ましいとされている。

平成 25 年度は 2.8 %となり、前年度に比較して 0.4 ポイント上昇している。



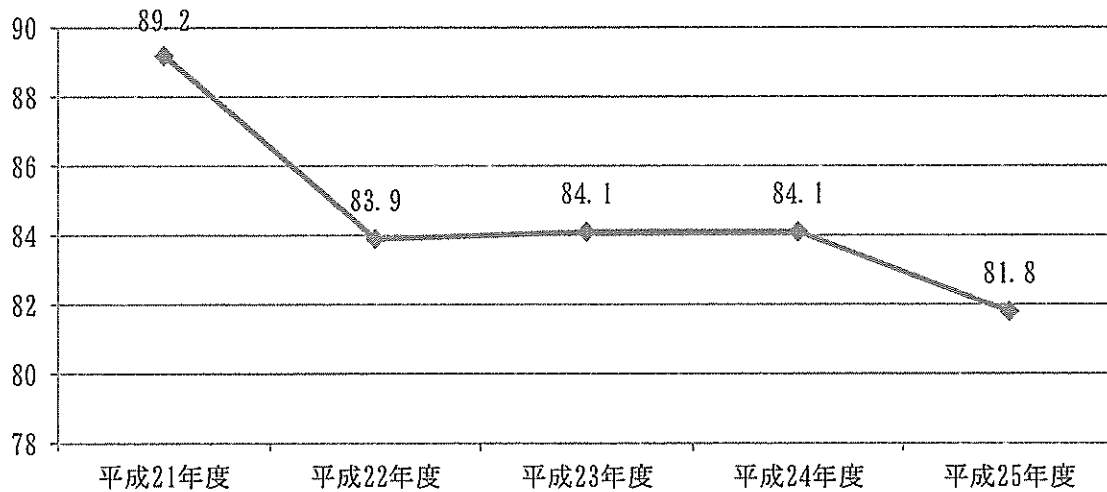
- ② 財政力指数は、財政構造における財政力の強弱を判断するために用いられる指数であり、指数が 1 に近いほど財政力が強く、1 を超えるほど財源に余裕がある。

平成 25 年度は 0.385 となり、前年度に比較して 0.007 ポイント低下している。



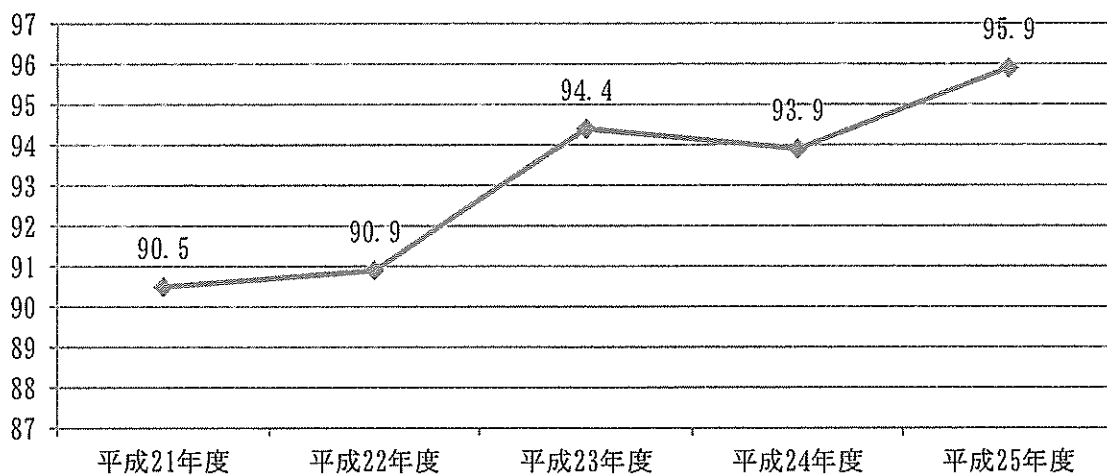
- ③ 経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断するために用いられる指数であり 80%を超えると財政構造が硬直化傾向にあるといわれている。

平成 25 年度は 81.8%となり、前年度に比較して 2.3 ポイント低下している。



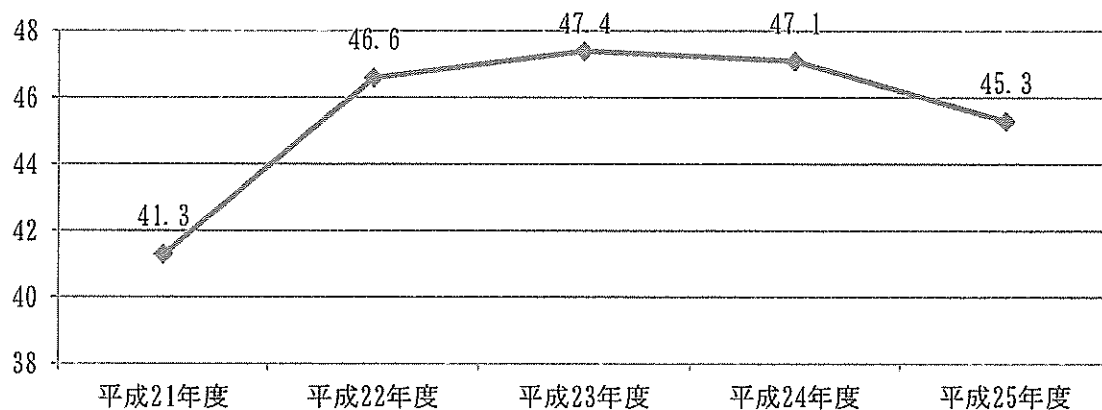
- ④ 経常一般財源等比率は、歳入構造の安定性を判断するために用いられる指数であり、100%を超える度合いが高いほど一般財源に余裕があり、歳入構造に弾力性がある。

平成 25 年度は 95.9%となり、前年度に比較して 2.0 ポイント上昇している。



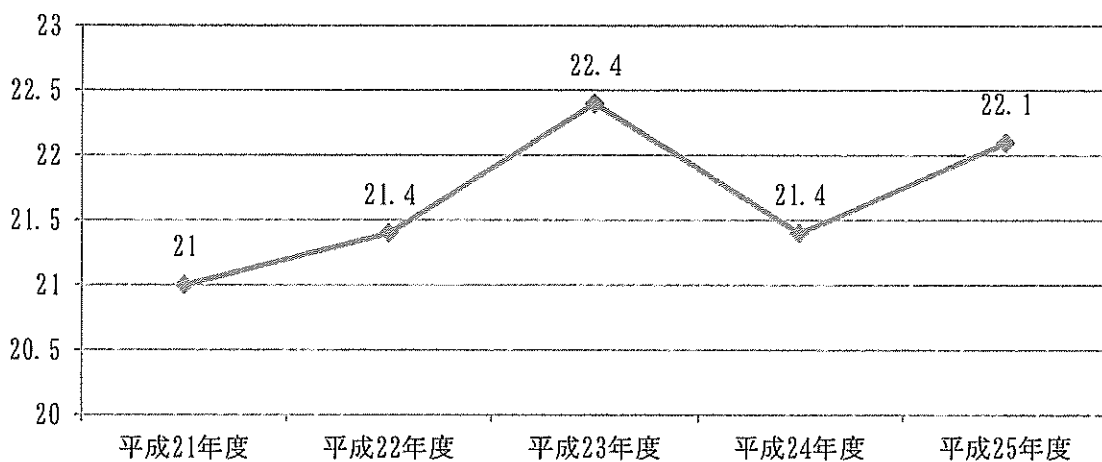
- ⑤ 義務的経費比率は、性質別経費のうち非弾力的性格の強い人件費、扶助費および公債費の歳出総額に占める割合で、この比率の増大は財政構造の硬直化を表す。

平成 25 年度は 45.3%となり、前年度に比較して 1.8 ポイント低下している。



⑥ 公債費負担比率は、公債費に充当された一般財源の一般財源総額に対する比率で、この比率の増大は財政運営の硬直化を表す。

平成 25 年度は 22.1% となり、前年度に比較して 0.7 ポイント増加している。



3. 市債現在高の状況

市債年度末現在高は、次表のとおりとなっている。

(単位：千円、%)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較	伸び率
一 般 会 計	18,914,150	19,436,285	△522,135	△ 2.7
簡 易 水 道 特 別 会 計	397,084	382,181	14,903	3.9
公共下水道事業特別会計	11,113,974	11,308,592	△194,618	△ 1.7
農業集落排水事業特別会計	3,640,294	3,746,669	△106,375	△ 2.8
合 計	34,065,502	34,873,727	△808,225	△ 2.3

平成 25 年度一般会計・特別会計市債現在高は、総額 340 億 6,550 万 2 千円で、前年度に比較して 8 億 822 万 5 千円 (2.3%) 減となっている。

一 般 会 計

一般会計決算審査概要

1. 決算の概要

(1) 決算総額

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳 入	歳 出
平成 25 年度	16,022,894,600	15,680,119,253	15,410,010,438	270,108,815	97.9	96.2
平成 24 年度	16,147,853,000	15,191,229,384	14,898,704,122	292,525,262	94.1	92.3
比較増減	△ 124,958,400	488,889,869	511,306,316	△ 22,416,447	3.8	3.9
増 減 率	△ 0.8	3.2	3.4	△ 7.7	—	—

一般会計の本年度決算額は、歳入が156億8,011万9,253円、歳出が154億1,001万438円で、歳入歳出差引額は2億7,010万8,815円となっている。これを前年度と比較すると歳入は4億8,888万9,869円(3.2%)、歳出は5億1,130万6,316円(3.4%)それぞれ増加し、歳入歳出差引額は2,241万6,447円(7.7%)減少している。

(2) 決算収支の状況

(単位：千円、%)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較 増 減	増減率
歳 入 総 額 A	15,680,119	15,191,229	488,890	3.2
歳 出 総 額 B	15,410,010	14,898,704	511,306	3.4
歳入歳出差引額 A-B=C	270,109	292,525	△ 22,416	△ 7.7
翌年度に繰越すべき財源 D	14,039	74,842	△ 60,803	△ 81.2
実 質 収 支 C-D=E	256,070	217,683	38,387	17.6
前年度実質収支 F	217,683	306,427	△ 88,744	△ 29.0
単 年 度 収 支 E-F=G	38,387	△ 88,744	127,131	143.3
積 立 金 H	336,829	534,321	△ 197,492	△ 37.0
繰上償還金 I	706,180	680,889	25,291	3.7
積立金取崩し額 J	2,153	1,953	200	10.2
実質単年度収支 G+H+I-J=K	1,079,243	1,124,513	△ 45,270	△ 4.0

平成 25 年度の決算収支は、歳入歳出差引額（形式収支）では2億7,010万9千円、実質収支では2億5,607万円の黒字となっている。この額から前年度の実質収支額2億1,768万3千円を差し引いた単年度収支は3,838万7千円の黒字となり、この単年度収支に積立金（財政調整基金）3億3,682万9千円、繰上償還金7億618万円、積立金取崩し額215万3千円を加減した実質単年度収支では、10億7,924万3千円の黒字となっている。

2. 歳 入

(1) 歳入決算状況

(単位：円、％)

区 分	予算現額	調定額 (A)	収入済額 (B)	不納欠損額	収入未済額	収入率 (B) / (A)
平成 25 年度	16,022,894,600	15,892,844,764	15,680,119,253	12,619,196	200,106,315	98.7
平成 24 年度	16,147,853,000	15,407,821,433	15,191,229,384	18,897,414	197,694,635	98.6
比較増減	△ 124,958,400	485,023,331	488,889,869	△ 6,278,218	2,411,680	0.1
増 減 率	△ 0.8	3.1	3.2	△33.2	1.2	—

本年度の歳入の決算状況は、予算現額 160 億 2,289 万 4,600 円、調定額 158 億 9,284 万 4,764 円、収入済額 156 億 8,011 万 9,253 円、不納欠損額 1,261 万 9,196 円、収入未済額 2 億 10 万 6,315 円で、調定額に対して 98.7％の収入率となっている。

これを前年度と比較すると、予算現額は 1 億 2,495 万 8,400 円 (0.8％) の減、調定額は 4 億 8,502 万 3,331 円 (3.1％) の増、収入済額は 4 億 8,888 万 9,869 円 (3.2％) の増、不納欠損額は 627 万 8,218 円 (33.2％) の減、収入未済額は 241 万 1,680 円 (1.2％) の増とそれぞれなっている。

(2) 歳入款別決算状況

(単位: 円、%)

科 目	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 欠 損 納 額	収入未済額	収 入 割 合		
						予 算 対 比	調 定 対 比	構 成 比 率
1.市 税	2,908,942,000	3,110,167,325	2,927,794,784	11,087,126	171,285,415	100.6	94.1	18.7
2.地方譲与税	198,760,000	198,760,000	198,760,000	0	0	100.0	100.0	1.3
3.利子割交付金	6,672,000	6,672,000	6,672,000	0	0	100.0	100.0	0.0
4.配当割交付金	7,303,000	7,303,000	7,303,000	0	0	100.0	100.0	0.0
5.株式等譲渡所得割交付金	8,118,000	8,118,000	8,118,000	0	0	100.0	100.0	0.1
6.地方消費税交付金	266,623,000	266,623,000	266,623,000	0	0	100.0	100.0	1.7
7.ゴルフ場利用税交付金	749,000	749,420	749,420	0	0	100.1	100.0	0.0
8.自動車取得税交付金	40,617,000	40,617,000	40,617,000	0	0	100.0	100.0	0.3
9.地方特例交付金	11,211,000	11,211,000	11,211,000	0	0	100.0	100.0	0.1
10.地方交付税	5,909,395,000	5,909,395,000	5,909,395,000	0	0	100.0	100.0	37.7
11.交通安全対策特別交付金	3,754,000	3,754,000	3,754,000	0	0	100.0	100.0	0.0
12.分担金及び負担金	123,937,000	126,742,688	122,504,848	1,532,070	2,705,770	98.8	96.7	0.8
13.使用料及び手数料	188,965,000	218,488,167	201,069,047	0	17,419,120	106.4	92.0	1.3
14.国庫支出金	1,832,338,000	1,746,647,005	1,746,647,005	0	0	95.3	100.0	11.1
15.県支出金	1,769,781,000	1,554,163,277	1,554,163,277	0	0	87.8	100.0	9.9
16.財産収入	67,676,000	73,143,636	70,969,561	0	2,174,075	104.9	97.0	0.5
17.寄附金	14,041,000	14,040,300	14,040,300	0	0	100.0	100.0	0.1
18.繰入金	91,077,000	91,077,000	91,077,000	0	0	100.0	100.0	0.6
19.繰越金	292,524,600	292,525,262	292,525,262	0	0	100.0	100.0	1.9
20.諸収入	550,223,000	569,359,684	562,837,749	0	6,521,935	102.3	98.9	3.6
21.市債	1,730,188,000	1,643,288,000	1,643,288,000	0	0	95.0	100.0	10.5
合 計	16,022,894,600	15,892,844,764	15,680,119,253	12,619,196	200,106,315	97.9	98.7	100.0

(3) 歳入財源別比較表

(単位：円、％)

区 分		平成 25 年度		平成 24 年度		前年度比較	
		収入済額	構成比率	収入済額	構成比率	増減額	増減率
自主財源	市 税	2,927,794,784	18.7	2,746,491,921	18.1	181,302,863	6.6
	分担金及び負担金	122,504,848	0.8	138,866,864	0.9	△ 16,362,016	△11.8
	使用料及び手数料	201,069,047	1.3	213,633,773	1.4	△ 12,564,726	△ 5.9
	財 産 収 入	70,969,561	0.5	50,324,146	0.3	20,645,415	41.0
	寄 附 金	14,040,300	0.1	8,543,300	0.1	5,497,000	64.3
	繰 入 金	91,077,000	0.6	530,643,500	3.5	△439,566,500	△82.8
	繰 越 金	292,525,262	1.9	362,166,402	2.4	△ 69,641,140	△19.2
	諸 収 入	562,837,749	3.6	442,670,866	2.9	120,166,883	27.1
	計	4,282,818,551	27.3	4,493,340,772	29.6	△210,522,221	△ 4.7
依存財源	地 方 譲 与 税	198,760,000	1.3	208,974,288	1.4	△ 10,214,288	△ 4.9
	利子割交付金	6,672,000	0.0	7,233,000	0.0	△ 561,000	△ 7.8
	配当割交付金	7,303,000	0.0	3,057,000	0.0	4,246,000	138.9
	株式等譲渡所得割交付金	8,118,000	0.1	679,000	0.0	7,439,000	1,095.6
	地方消費税交付金	266,623,000	1.7	268,915,000	1.8	△ 2,292,000	△ 0.9
	ゴルフ場利用税交付金	749,420	0.0	1,458,660	0.0	△ 709,240	△48.6
	自動車取得税交付金	40,617,000	0.3	51,171,000	0.3	△ 10,554,000	△20.6
	地方特例交付金	11,211,000	0.1	12,548,000	0.1	△ 1,337,000	△10.7
	地 方 交 付 税	5,909,395,000	37.7	5,823,640,000	38.3	85,755,000	1.5
	交通安全対策特別交付金	3,754,000	0.0	3,867,000	0.0	△ 113,000	△ 2.9
	国 庫 支 出 金	1,746,647,005	11.1	1,421,917,340	9.4	324,729,665	22.8
	県 支 出 金	1,554,163,277	9.9	1,199,454,324	7.9	354,708,953	29.6
	市 債	1,643,288,000	10.5	1,694,974,000	11.2	△ 51,686,000	△ 3.0
	計	11,397,300,702	72.7	10,697,888,612	70.4	699,412,090	6.5
合 計		15,680,119,253	100.0	15,191,229,384	100.0	488,889,869	3.2

本年度の歳入決算額を財源別に比較すると、自主財源と依存財源の比率は 27.3 対 72.7 であり、自主財源の構成比率は、前年度と比較して 2.3％減少している。

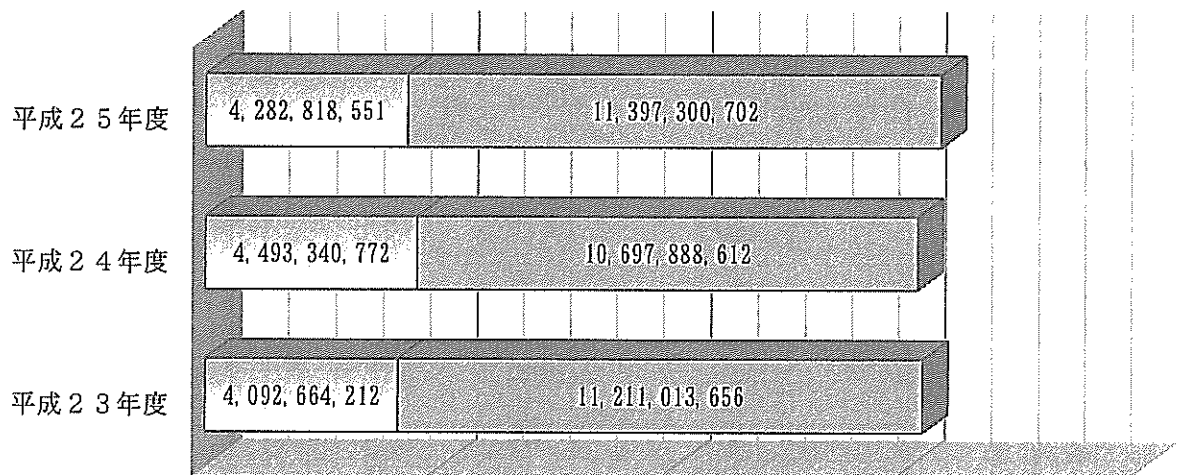
本年度の自主財源は 42 億 8,281 万 8,551 円で、前年度と比較して 2 億 1,052 万 2,221 円 (4.7％) 減少している。これは、市税が前年度と比較して 1 億 8,130 万 2,863 円 (6.6％) 増加したものの、繰入金が 4 億 3,956 万 6,500 円 (82.8％) 減少したことなどによる。

本年度の依存財源は 113 億 9,730 万 702 円で、前年度と比較して 6 億 9,941 万 2,090 円 (6.5％) 増加している。これは、市債が 5,168 万 6,000 円 (3.0％) 減少したものの、県支出金が 3 億 5,470 万 8,953 円 (29.6％)、国庫支出金が 3 億 2,472 万 9,665 円 (22.8％)、地方交付税が 8,575 万 5,000 円 (1.5％) 増加したことなどによる。

(歳入財源別比較の推移)

(単位：円)

□ 自主財源 ■ 依存財源

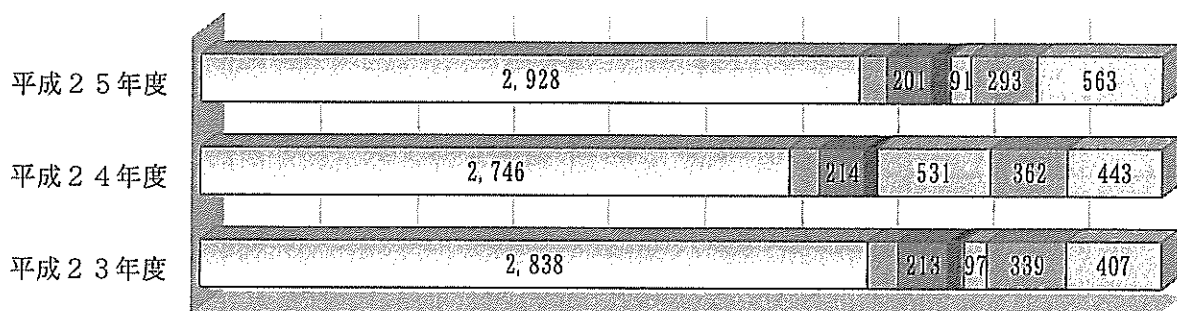


	平成23年度	平成24年度	平成25年度
自主財源	4,092,664,212	4,493,340,772	4,282,818,551
依存財源	11,211,013,656	10,697,888,612	11,397,300,702

(自主財源決算状況の推移)

(単位：百万円)

□ 市 税 ■ 分担金 ■ 使用料 ■ 財産収入
■ 寄附金 □ 繰入金 ■ 繰越金 □ 諸収入



	平成23年度	平成24年度	平成25年度
市 税	2,838	2,746	2,928
分担金	130	139	123
使用料	213	214	201
財産収入	54	50	71
寄附金	16	9	14
繰入金	97	531	91
繰越金	339	362	293
諸収入	407	443	563

3. 歳 出

(1) 歳出決算状況

(単位:円、%)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不 用 額 A- (B+C)	執行率 (B) / (A)
平成 25 年度	16,022,894,600	15,410,010,438	314,096,000	298,788,162	96.2
平成 24 年度	16,147,853,000	14,898,704,122	993,414,600	255,734,278	92.3
比較増減	△ 124,958,400	511,306,316	△ 679,318,600	43,053,884	3.9
増 減 率	△ 0.8	3.4	△68.4	16.8	—

本年度の歳出の決算状況は、予算現額160億2,289万4,600円、支出済額154億1,001万438円、翌年度繰越額3億1,409万6,000円、不用額2億9,878万8,162円で、予算現額に対して96.2%の執行率となっている。

これを前年度と比較すると、予算現額は1億2,495万8,400円(0.8%)の減、支出済額は5億1,130万6,316円(3.4%)の増、翌年度繰越額は6億7,931万8,600円(68.4%)の減となっている。

なお、執行率は3.9%増の96.2%となっている。

不用額2億9,878万8,162円は、予算現額に対して1.9%であり、前年度に比較して4,305万3,884円(16.8%)増加している。

(2) 歳出款別決算状況

(単位：円、％)

科 目	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 割 合	
					予算対比	構成比率
1.議 会 費	129,623,000	128,605,667	0	1,017,333	99.2	0.8
2.総 務 費	2,110,222,500	2,030,686,688	50,000,000	29,535,812	96.2	13.2
3.民 生 費	3,755,400,000	3,577,185,897	130,500,000	47,714,103	95.3	23.2
4.衛 生 費	891,515,000	870,192,844	0	21,322,156	97.6	5.6
5.労 働 費	12,280,000	12,249,076	0	30,924	99.7	0.1
6.農林水産業費	1,095,814,100	1,022,595,807	65,414,000	7,804,293	93.3	6.6
7.商 工 費	1,109,053,000	999,530,856	0	109,522,144	90.1	6.5
8.土 木 費	1,527,313,000	1,454,478,927	56,000,000	16,834,073	95.2	9.4
9.消 防 費	1,030,585,000	1,016,899,900	4,500,000	9,185,100	98.7	6.6
10.教 育 費	1,823,773,000	1,782,760,082	0	41,012,918	97.8	11.6
11.災 害 復 旧 費	89,849,000	81,888,223	7,682,000	278,777	91.1	0.5
12.公 債 費	2,434,810,000	2,432,936,471	0	1,873,529	99.9	15.8
13.諸 支 出 金	2,000	0	0	2,000	0.0	0.0
14.予 備 費	12,655,000	0	0	12,655,000	0.0	0.0
合 計	16,022,894,600	15,410,010,438	314,096,000	298,788,162	96.2	100.0

款別の支出済額では、民生費35億7,718万5,897円（構成比率23.2%）が最も多く、次いで、公債費24億3,293万6,471円（構成比率15.8%）、総務費20億3,068万6,688円（構成比率13.2%）、教育費17億8,276万82円（構成比率11.6%）、土木費14億5,447万8,927円（構成比率9.4%）、農林水産業費10億2,259万5,807円（構成比率6.6%）、消防費10億1,689万9,900円（構成比率6.6%）の順となっている。

(歳出款別決算状況の推移)

(単位：百万円)

■議会費 □総務費 □民生費
 □衛生費 ■労働費 □農林水産業費
 □商工費 □土木費 □消防費
 □教育費 ■災害復旧費 □公債費

平成25年度	2,031	3,577	870	1,023	1,000	1,454	1,017	1,783	2,433
平成24年度	2,060	3,569	825	987	872	1,417	1,010	1,634	2,374
平成23年度	2,138	3,615	803	896	474	1,699	891	1,718	2,461

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
議会費	151	129	129
総務費	2,138	2,060	2,031
民生費	3,615	3,569	3,577
衛生費	803	825	870
労働費	13	12	12
農林水産業費	896	987	1,023
商工費	474	872	1,000
土木費	1,699	1,417	1,454
消防費	891	1,010	1,017
教育費	1,718	1,634	1,783
災害復旧費	83	9	82
公債費	2,461	2,374	2,433

(3) 性質別支出済額の状況

(単位:千円、%)

区 分		平成 25 度		平成 24 年度		前 年 度 比 較	
		支 出 済 額	構 成 比 率	支 出 済 額	構 成 比 率	増 減 額	増 減 率
消 費 的 経 費	人 件 費	2,350,436	15.3	2,409,523	16.2	△ 59,087	△ 2.5
	物 件 費	2,259,082	14.7	2,028,504	13.6	230,578	11.4
	維 持 補 修 費	178,704	1.2	208,714	1.4	△ 30,010	△14.4
	扶 助 費	2,197,650	14.3	2,230,845	15.0	△ 33,195	△ 1.5
	補 助 費 等	918,252	6.0	1,008,932	6.8	△ 90,680	△ 9.0
	計	7,904,124	51.3	7,886,518	52.9	17,606	0.2
投 資 的 経 費	普通建設事業費 (補 助)	1,180,974	7.7	820,519	5.5	360,455	43.9
	普通建設事業費 (単 独)	1,232,423	8.0	1,231,484	8.3	939	0.1
	災害復旧事業費	300,230	1.9	15,468	0.1	284,762	1,841.0
	計	2,713,627	17.6	2,067,471	13.9	646,156	31.3
そ の 他 の 経 費	公 債 費	2,432,936	15.8	2,374,054	15.9	58,882	2.5
	積 立 金	584,267	3.8	837,650	5.6	△253,383	△30.2
	投資及び出資金・ 貸付金	112,500	0.7	123,000	0.8	△ 10,500	△ 8.5
	繰 出 金	1,662,556	10.8	1,610,011	10.8	52,545	3.3
	計	4,792,259	31.1	4,944,715	33.2	△152,456	△ 3.1
合 計		15,410,010	100.0	14,898,704	100.0	511,306	3.4

消費的経費は79億412万4千円で、維持補修補、補助費、人件費等が減少したものの、物件費の増加により、前年度に比較して1,760万6千円(0.2%)増加している。

投資的経費は27億1,362万7千円で、災害復旧事業費、普通建設事業費(補助)の増加により、前年度に比較して6億4,615万6千円(31.3%)増加している。

その他の経費は47億9,225万9千円で、前年度に比較して1億5,245万6千円(3.1%)減少している。

この結果、各経費の構成比率を前年度に比較すると、消費的経費は1.6ポイント減の51.3%、投資的経費は3.7ポイント増の17.6%、その他の経費は2.1ポイント減の31.1%となっている。

特 別 会 計

特別会計決算審査概要

1. 特別会計総計決算の概要

特別会計として区分された6事業の予算総額は、54億8,372万9,000円、これに対する決算額は、歳入総額54億3,470万9,239円（予算に対する執行率99.1%）、歳出総額52億5,188万6,531円（予算に対する執行率95.8%）、歳入歳出差引額は1億8,282万2,708円である。

各会計別決算は、次のとおりである。

（単位：円、%）

		予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	比 較 増 減 (B) - (A)	執 行 率 (B) / (A)
国民健康保険事業特別会計 事業勘定	歳 入	3,406,173,000	3,451,907,116	45,734,116	101.3
	歳 出	3,406,173,000	3,311,550,229	△ 94,622,771	97.2
	差引残額	0	140,356,887	—	—
国民健康保険事業特別会計 施設勘定	歳 入	90,325,000	96,248,230	5,923,230	106.6
	歳 出	90,325,000	85,757,226	△ 4,567,774	94.9
	差引残額	0	10,491,004	—	—
後期高齢者医療特別会計	歳 入	263,869,000	263,827,246	△41,754	100.0
	歳 出	263,869,000	262,331,681	△ 1,537,319	99.4
	差引残額	0	1,495,565	—	—
簡易水道特別会計	歳 入	99,257,000	99,310,074	53,074	100.1
	歳 出	99,257,000	95,402,841	△ 3,764,159	96.2
	差引残額	0	3,817,233	—	—
公共下水道事業特別会計	歳 入	1,194,277,000	1,093,633,242	△100,643,758	91.6
	歳 出	1,194,277,000	1,074,889,262	△119,387,738	90.0
	差引残額	0	18,743,980	—	—
農業集落排水事業特別会計	歳 入	429,828,000	429,783,331	△ 44,669	100.0
	歳 出	429,828,000	421,865,292	△ 7,962,708	98.1
	差引残額	0	7,918,039	—	—
合 計	歳 入	5,483,729,000	5,434,709,239	△ 49,019,761	99.1
	歳 出	5,483,729,000	5,251,886,531	△231,842,469	95.8
	差引残額	0	182,822,708	—	—

2. 各 会 計 の 概 要

(1) 国民健康保険事業特別会計事業勘定

①決算の概要

(単位:円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳 入	歳 出
平成 25 年度	3,406,173,000	3,451,907,116	3,311,550,229	140,356,887	101.3	97.2
平成 24 年度	3,237,039,000	3,308,375,856	3,107,255,077	201,120,779	102.2	96.0
比較増減	169,134,000	143,531,260	204,295,152	△ 60,763,892	△ 0.9	1.2
増 減 率	5.2	4.3	6.6	△30.2	—	—

本年度決算額は、予算現額 3 4 億 6 1 7 万 3, 0 0 0 円に対して、歳入決算額が 3 4 億 5, 1 9 0 万 7, 1 1 6 円（執行率 101.3%）、歳出決算額が 3 3 億 1, 1 5 5 万 2 2 9 円（執行率 97.2%）で、歳入歳出差引額は 1 億 4, 0 3 5 万 6, 8 8 7 円となっている。

前年度と比較すると、歳入が 1 億 4, 3 5 3 万 1, 2 6 0 円（4.3%）の増、歳出が 2 億 4 2 9 万 5, 1 5 2 円（6.6%）の増となっている。

②歳 入

ア. 歳入決算状況

(単位:円、%)

区 分	予算現額	調定額 (A)	収入済額 (B)	不納欠損額	収入未済額	収 入 率 (B) / (A)
平成 25 年度	3,406,173,000	3,622,812,928	3,451,907,116	9,154,818	161,750,994	95.3
平成 24 年度	3,237,039,000	3,490,510,618	3,308,375,856	16,286,779	165,847,983	94.8
比較増減	169,134,000	132,302,310	143,531,260	△ 7,131,961	△ 4,096,989	0.5
増 減 率	5.2	3.8	4.3	△ 43.8	△ 2.5	—

歳入の決算状況は、予算現額 3 4 億 6 1 7 万 3, 0 0 0 円、調定額 3 6 億 2, 2 8 1 万 2, 9 2 8 円、収入済額 3 4 億 5, 1 9 0 万 7, 1 1 6 円、不納欠損額 9 1 5 万 4, 8 1 8 円、収入未済額 1 億 6, 1 7 5 万 9 9 4 円、調定額に対する収入率は 95.3%となっている。

不納欠損額及び収入未済額は、いずれも国民健康保険税である。

イ. 歳入款別決算状況

(単位:円、%)

科 目	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 欠 損 額	収入未済額	収 入 割 合		
						予 算 対 比	調 定 対 比	構 成 比 率
1. 国民健康保険税	603,510,000	790,306,983	619,401,171	9,154,818	161,750,994	102.6	78.4	17.9
2. 一部負担金	2,000	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
3. 使用料及び手数料	322,000	315,400	315,400	0	0	98.0	100.0	0.0
4. 国庫支出金	620,968,000	630,813,519	630,813,519	0	0	101.6	100.0	18.3
5. 療養給付費交付金	403,189,000	397,016,000	397,016,000	0	0	98.5	100.0	11.5
6. 前期高齢者交付金	853,381,000	853,381,577	853,381,577	0	0	100.0	100.0	24.7
7. 県支出金	132,235,000	154,244,205	154,244,205	0	0	116.6	100.0	4.5
8. 共同事業交付金	459,759,000	459,759,944	459,759,944	0	0	100.0	100.0	13.3
9. 財産収入	79,000	79,536	79,536	0	0	100.7	100.0	0.0
10. 繰入金	131,223,000	131,223,000	131,223,000	0	0	100.0	100.0	3.8
11. 繰越金	201,120,000	201,120,779	201,120,779	0	0	100.0	100.0	5.8
12. 諸収入	385,000	4,551,985	4,551,985	0	0	1,182.3	100.0	0.1
合 計	3,406,173,000	3,622,812,928	3,451,907,116	9,154,818	161,750,994	101.3	95.3	100.0

款別の収入済額では、前期高齢者交付金8億5,338万1,577円(構成比率24.7%)が最も多く、次いで国庫支出金6億3,081万3,519円(構成比率18.3%)、国民健康保険税6億1,940万1,171円(構成比率17.9%)、共同事業交付金4億5,975万9,944円(構成比率13.3%)の順となっている。

③歳 出

ア. 歳出決算状況

(単位:円、%)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率 (B) / (A)
平成 25 年度	3,406,173,000	3,311,550,229	0	94,622,771	97.2
平成 24 年度	3,237,039,000	3,107,255,077	0	129,783,923	96.0
比 較 増 減	169,134,000	204,295,152	0	△ 35,161,152	1.2
増 減 率	5.2	6.6	—	△27.1	—

歳出の決算状況は、予算現額34億617万3,000円、支出済額33億1,155万229円、
不用額9,462万2,771円、予算執行率は97.2%となっている。

イ. 歳出款別決算状況

(単位:円、%)

科 目	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 割 合	
					予算対比	構成比率
1. 総 務 費	26,758,000	26,318,156	0	439,844	98.4	0.8
2. 保 険 給 付 費	2,324,167,000	2,312,016,792	0	12,150,208	99.5	69.8
3. 後期高齢者支 援金等	361,737,000	361,735,867	0	1,133	100.0	10.9
4. 前期高齢者納 付金等	358,000	356,935	0	1,065	99.7	0.0
5. 老人保健拠出 金	25,000	15,796	0	9,204	63.2	0.0
6. 介 護 納 付 金	179,476,000	179,475,029	0	971	100.0	5.4
7. 共同事業拠出 金	407,456,000	389,864,113	0	17,591,887	95.7	11.8
8. 保 健 事 業 費	26,760,000	26,101,208	0	658,792	97.5	0.8
9. 基 金 積 立 金	1,000	0	0	1,000	0.0	0.0
10. 公 債 費	1,000	0	0	1,000	0.0	0.0
11. 諸 支 出 金	16,435,000	15,666,333	0	768,667	95.3	0.5
12. 予 備 費	62,999,000	0	0	62,999,000	0.0	0.0
合 計	3,406,173,000	3,311,550,229	0	94,622,771	97.2	100.0

款別の支出済額では、保険給付費２３億１，２０１万６，７９２円（構成比率 69.8％）が最も多く、次いで共同事業拠出金３億８，９８６万４，１１３円（構成比率 11.8％）、後期高齢者支援金等３億６，１７３万５，８６７円（構成比率 10.9％）の順となっている。

（２）国民健康保険事業特別会計施設勘定

①決算の概要

（単位：円、％）

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳 入	歳 出
平成 25 年度	90,325,000	96,248,230	85,757,226	10,491,004	106.6	94.9
平成 24 年度	84,923,000	91,108,148	81,097,794	10,010,354	107.3	95.5
比較増減	5,402,000	5,140,082	4,659,432	480,650	△ 0.7	△ 0.6
増 減 率	6.4	5.6	5.7	4.8	—	—

本年度決算額は、予算現額 9,032万5,000円に対して、歳入決算額が 9,624万8,230円（執行率 106.6％）、歳出決算額が 8,575万7,226円（執行率 94.9％）で、歳入歳出差引額は 1,049万1,004円となっている。

前年度と比較すると、歳入が 514万82円（5.6％）の増、歳出が 465万9,432円（5.7％）の増となっている。

②歳 入

ア．歳入決算状況

（単位：円、％）

区 分	予算現額	調定額 (A)	収入済額 (B)	不納欠損額	収入未済額	収入率 (B) / (A)
平成 25 年度	90,325,000	96,248,230	96,248,230	0	0	100.0
平成 24 年度	84,923,000	91,108,148	91,108,148	0	0	100.0
比較増減	5,402,000	5,140,082	5,140,082	0	0	0.0
増 減 率	6.4	5.6	5.6	—	—	—

歳入の決算状況は、予算現額 9,032万5,000円、調定額 9,624万8,230円、収入済額 9,624万8,230円、不納欠損額 0円、収入未済額 0円、調定額に対する収入率 100％となっている。

イ. 歳入款別決算状況

(単位:円、%)

科 目	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未済額	収 入 割 合		
						予 算 対 比	調 定 対 比	構 成 比 率
1. 診 療 収 入	58,506,000	63,763,628	63,763,628	0	0	109.0	100.0	66.2
2. 使用料及び 手数料	429,000	679,600	679,600	0	0	158.4	100.0	0.7
3. 財 産 収 入	67,000	67,044	67,044	0	0	100.1	100.0	0.1
4. 繰 入 金	20,033,000	20,033,000	20,033,000	0	0	100.0	100.0	20.8
5. 繰 越 金	10,010,000	10,010,354	10,010,354	0	0	100.0	100.0	10.4
6. 諸 収 入	658,000	1,072,604	1,072,604	0	0	163.0	100.0	1.1
7. 県 支 出 金	622,000	622,000	622,000	0	0	100.0	100.0	0.6
合 計	90,325,000	96,248,230	96,248,230	0	0	106.6	100.0	100.0

款別の収入済額では、診療収入6,376万3,628円(構成比率66.2%)が最も多く、次いで繰入金2,003万3,000円(構成比率20.8%)、繰越金1,001万354円(構成比率10.4%)の順となっている。

③歳 出

ア. 歳出決算状況

(単位:円、%)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率 (B) / (A)
平成 25 年度	90,325,000	85,757,226	0	4,567,774	94.9
平成 24 年度	84,923,000	81,097,794	0	3,825,206	95.5
比 較 増 減	5,402,000	4,659,432	0	742,568	△ 0.6
増 減 率	6.4	5.7	—	19.4	—

歳出の決算状況は、予算現額9,032万5,000円、支出済額8,575万7,226円、不用額456万7,774円、予算執行率は94.9%となっている。

イ. 歳出款別決算状況

(単位:円、%)

科 目	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 割 合	
					予算対比	構成比率
1. 総 務 費	75,141,000	73,346,021	0	1,794,979	97.6	85.5
2. 医 業 費	11,650,000	10,591,266	0	1,058,734	90.9	12.4
3. 公 債 費	1,000	0	0	1,000	0.0	0.0
4. 諸 支 出 金	2,228,000	1,819,939	0	408,061	81.7	2.1
5. 予 備 費	1,305,000	0	0	1,305,000	0.0	0.0
合 計	90,325,000	85,757,226	0	4,567,774	94.9	100.0

款別の支出済額では、総務費7,334万6,021円（構成比率85.5%）が最も多く、次いで医業費1,059万1,266円（構成比率12.4%）、諸支出金181万9,939円（構成比率2.1%）の順となっている。

（3）後期高齢者医療特別会計

①決算の概要

(単位:円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予 算 執 行 率	
					歳 入	歳 出
平成25年度	263,869,000	263,827,246	262,331,681	1,495,565	100.0	99.4
平成24年度	257,050,000	257,320,284	256,327,714	992,570	100.1	99.7
比較増減	6,819,000	6,506,962	6,003,967	502,995	△0.1	△0.3
増減率	2.7	2.5	2.3	50.7	—	—

本年度決算額は、予算現額2億6,386万9,000円に対して、歳入決算額が2億6,382万7,246円（執行率100.0%）、歳出決算額2億6,233万1,681円（執行率99.4%）で、歳入歳出差引額は149万5,565円となっている。

前年度と比較すると、歳入が650万6,962円(2.5%)の増、歳出が600万3,967円(2.3%)の増となっている。

②歳 入

ア. 歳入決算状況

(単位:円、%)

区 分	予算現額	調定額 (A)	収入済額 (B)	不納欠損額	収入未済額	収 入 率 (B) / (A)
平成 25 年度	263,869,000	264,985,846	263,827,246	2,400	1,156,200	99.6
平成 24 年度	257,050,000	257,902,484	257,320,284	0	582,200	99.8
比較増減	6,819,000	7,083,362	6,506,962	2,400	574,000	△ 0.2
増 減 率	2.7	2.7	2.5	—	98.6	—

歳入の決算状況は、予算現額2億6,386万9,000円、調定額2億6,498万5,846円、収入済額2億6,382万7,246円、不納欠損額2,400円、収入未済額115万6,200円、調定額に対する収入率は99.6%となっている。

不納欠損額及び収入未済額は、いずれも後期高齢者医療保険料である。

イ. 歳入款別決算状況

(単位:円、%)

科 目	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収入未済額	収 入 割 合		
						予 算 対 比	調 定 対 比	構 成 比 率
1. 後期高齢者 医療保険料	183,501,000	184,602,000	183,443,400	2,400	1,156,200	100.0	99.4	69.5
2. 使用料及び 手数料	51,000	29,200	29,200	0	0	57.3	100.0	0.0
3. 繰 入 金	79,315,000	79,314,576	79,314,576	0	0	100.0	100.0	30.1
4. 繰 越 金	992,000	992,570	992,570	0	0	100.1	100.0	0.4
5. 諸 収 入	10,000	47,500	47,500	0	0	475.0	100.0	0.0
合 計	263,869,000	264,985,846	263,827,246	2,400	1,156,200	100.0	99.6	100.0

款別の収入済額では、後期高齢者医療保険料1億8,344万3,400円（構成比率69.5%）が最も多く、次いで繰入金7,931万4,576円（構成比率30.1%）の順となっている。

③歳 出

ア. 歳出決算状況

(単位:円、%)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率 (B) / (A)
平成 25 年度	263,869,000	262,331,681	0	1,537,319	99.4
平成 24 年度	257,050,000	256,327,714	0	722,286	99.7
比 較 増 減	6,819,000	6,003,967	0	815,033	△ 0.3
増 減 率	2.7	2.3	—	112.8	—

歳出の決算状況は、予算現額2億6,386万9,000円、支出済額2億6,233万1,681円、不用額153万7,319円、予算執行率は99.4%となっている。

イ. 歳出款別決算状況

(単位:円、%)

科 目	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 割 合	
					予算対比	構成比率
1. 総 務 費	2,660,000	2,349,705	0	310,295	88.3	0.9
2. 後期高齢者医療 広域連合納付金	261,107,000	259,934,476	0	1,172,524	99.6	99.1
3. 諸 支 出 金	48,000	47,500	0	500	99.0	0.0
4. 予 備 費	54,000	0	0	54,000	0.0	0.0
合 計	263,869,000	262,331,681	0	1,537,319	99.4	100.0

款別の支出済額では、後期高齢者医療広域連合納付金2億5,993万4,476円(構成比率99.1%)が支出額の大部分を占めている。

(4) 簡易水道特別会計

①決算の概要

(単位:円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳 入	歳 出
平成 25 年度	99,257,000	99,310,074	95,492,841	3,817,233	100.1	96.2
平成 24 年度	74,319,000	75,588,104	71,467,134	4,120,970	101.7	96.2
比較増減	24,938,000	23,721,970	24,025,707	△ 303,737	△ 1.6	0.0
増 減 率	33.6	31.4	33.6	△ 7.4	—	—

本年度決算額は、予算現額 9,925万7,000円に対して、歳入決算額が9,931万74円（執行率 100.1%）、歳出決算額が9,549万2,841円（執行率 96.2%）で、歳入歳出差引額は381万7,233円となっている。

前年度と比較すると、歳入が2,372万1,970円（31.4%）の増、歳出が2,402万5,707円（33.6%）の増となっている。

②歳 入

ア. 歳入決算状況

(単位:円、%)

区 分	予算現額	調定額 (A)	収入済額 (B)	不納欠損額	収入未済額	収 入 率 (B) / (A)
平成 25 年度	99,257,000	100,864,247	99,310,074	85,108	1,469,065	98.5
平成 24 年度	74,319,000	76,971,028	75,588,104	0	1,382,924	98.2
比較増減	24,938,000	23,893,219	23,721,970	85,108	86,141	0.3
増 減 率	33.6	31.0	31.4	—	6.2	—

歳入の決算状況は、予算現額 9,925万7,000円、調定額 1億86万4,247円、収入済額 9,931万74円、不納欠損額 8万5,108円、収入未済額 146万9,065円、調定額に対する収入率は 98.5%となっている。

不納欠損額及び収入未済額は、いずれも水道使用料である。

イ. 歳入款別決算状況

(単位:円、%)

科 目	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収入未済額	収 入 割 合		
						予 算 対 比	調 定 対 比	構 成 比 率
1. 使用料及び 手数料	23,515,000	25,122,777	23,568,604	85,108	1,469,065	100.2	93.8	23.7
2. 国庫支出金	5,731,000	5,731,000	5,731,000	0	0	100.0	100.0	5.8
3. 繰 入 金	29,271,000	29,271,000	29,271,000	0	0	100.0	100.0	29.5
4. 繰 越 金	4,120,000	4,120,970	4,120,970	0	0	100.0	100.0	4.1
5. 諸 収 入	3,120,000	3,118,500	3,118,500	0	0	100.0	100.0	3.1
6. 市 債	33,500,000	33,500,000	33,500,000	0	0	100.0	100.0	33.7
合 計	99,257,000	100,864,247	99,310,074	85,108	1,469,065	100.0	98.5	100.0

款別の収入済額では、市債3,350万円（構成比率33.7%）が最も多く、次いで繰入金2,927万1,000円（構成比率29.5%）、使用料及び手数料2,356万8,604円（構成比率23.7%）、国庫支出金573万1,000円（構成比率5.8%）の順となっている。

③歳 出

ア. 歳出決算状況

(単位:円、%)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率 (B) / (A)
平成 25 年度	99,257,000	95,492,841	0	3,764,159	96.2
平成 24 年度	74,319,000	71,467,134	0	2,851,866	96.2
比 較 増 減	24,938,000	24,025,707	0	912,293	0.0
増 減 率	33.6	33.6	—	32.0	—

歳出の決算状況は、予算現額9,925万7,000円、支出済額9,549万2,841円、不用額376万4,159円、予算執行率は96.2%となっている。

イ. 歳出款別決算状況

(単位:円、%)

科 目	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 割 合	
					予算対比	構成比率
1. 総 務 費	29,826,000	26,623,764	0	3,202,236	89.3	27.9
2. 事 業 費	43,453,000	43,450,312	0	2,688	100.0	45.5
3. 公 債 費	25,478,000	25,418,765	0	59,235	99.8	26.6
4. 予 備 費	500,000	0	0	500,000	0.0	0.0
合 計	99,257,000	95,492,841	0	3,764,159	96.2	100.0

款別の支出済額では、事業費4,345万312円(構成比率45.5%)が最も多く、次いで総務費2,662万3,764円(構成比率27.9%)、公債費2,541万8,765円(構成比率26.6%)の順となっている。

(5) 公共下水道事業特別会計

①決算の概要

(単位:円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予 算 執 行 率	
					歳 入	歳 出
平成25年度	1,194,277,000	1,093,633,242	1,074,889,262	18,743,980	91.6	90.0
平成24年度	1,011,960,000	1,018,187,617	1,000,408,502	17,779,115	100.6	98.9
比較増減	182,317,000	75,445,625	74,480,760	964,865	△9.0	△8.9
増減率	18.0	7.4	7.4	5.4	—	—

本年度決算額は、予算現額11億9,427万7,000円に対して、歳入決算額が10億9,363万3,242円(執行率91.6%)、歳出決算額10億7,488万9,262円(執行率90.0%)で、歳入歳出差引額は1,874万3,980円となっている。

前年度と比較すると、歳入が7,544万5,625円(7.4%)の増、歳出が7,448万760円(7.4%)の増となっている。

②歳 入

ア. 歳入決算状況

(単位:円、%)

区 分	予算現額	調定額 (A)	収入済額 (B)	不納欠損額	収入未済額	収 入 率 (B) / (A)
平成 25 年度	1, 194, 277, 000	1, 100, 389, 692	1, 093, 633, 242	0	6, 756, 450	99. 4
平成 24 年度	1, 011, 960, 000	1, 031, 173, 308	1, 018, 187, 617	6, 018, 133	6, 967, 558	98. 7
比較増減	182, 317, 000	69, 216, 384	75, 445, 625	△ 6, 018, 133	△ 211, 108	0. 7
増 減 率	18. 0	6. 7	7. 4	—	△ 3. 0	—

歳入の決算状況は、予算現額 1 1 億 9, 4 2 7 万 7, 0 0 0 円、調定額 1 1 億 3 8 万 9, 6 9 2 円、収入済額 1 0 億 9, 3 6 3 万 3, 2 4 2 円、収入未済額 6 7 5 万 6, 4 5 0 円、調定額に対する収入率は 99. 4%となっている。

収入未済額は、受益者負担金及び下水道使用料である。

イ. 歳入款別決算状況

(単位:円、%)

科 目	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収入未済額	収 入 割 合		
						予 算 対 比	調 定 対 比	構 成 比 率
1. 分担金及び負担金	8, 400, 000	11, 251, 300	8, 580, 800	0	2, 670, 500	102. 2	76. 3	0. 8
2. 使用料及び手数料	209, 272, 000	215, 236, 197	211, 150, 247	0	4, 085, 950	100. 9	98. 1	19. 3
3. 国庫支出金	127, 400, 000	73, 400, 000	73, 400, 000	0	0	57. 6	100. 0	6. 7
4. 繰 入 金	510, 123, 000	510, 123, 000	510, 123, 000	0	0	100. 0	100. 0	46. 6
5. 繰 越 金	17, 779, 000	17, 779, 115	17, 779, 115	0	0	100. 0	100. 0	1. 6
6. 諸 収 入	3, 000	80	80	0	0	2. 7	100. 0	0. 0
7. 市 債	321, 300, 000	272, 600, 000	272, 600, 000	0	0	84. 8	100. 0	24. 9
合 計	1, 194, 277, 000	1, 100, 389, 692	1, 093, 633, 242	0	6, 756, 450	91. 6	99. 4	100. 0

款別の収入済額では、繰入金 5 億 1, 0 1 2 万 3, 0 0 0 円（構成比率 46. 6%）が最も多く、次いで市債 2 億 7, 2 6 0 万円（構成比率 24. 9%）、使用料及び手数料 2 億 1, 1 1 5 万 2 4 7 円（構成比率 19. 3%）、国庫支出金 7, 3 4 0 万円（構成比率 6. 7%）の順となっている。

③歳 出

ア. 歳出決算状況

(単位:円、%)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率 (B) / (A)
平成 25 年度	1,194,277,000	1,074,889,262	112,700,000	6,687,738	90.0
平成 24 年度	1,011,960,000	1,000,408,502	0	11,551,498	98.9
比 較 増 減	182,317,000	74,480,760	112,700,000	△ 4,863,760	△ 8.9
増 減 率	18.0	7.4	—	△ 42.1	—

歳出の決算状況は、予算現額 11 億 9,427 万 7,000 円、支出済額 10 億 7,488 万 9,262 円、翌年度繰越額 1 億 1,270 万円、不用額 6 万 6 千 8 百 7 十 3 円、予算執行率は 90.0%となっている。

イ. 歳出款別決算状況

(単位:円、%)

科 目	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 割 合	
					予算対比	構成比率
1. 総 務 費	205,015,000	199,976,445	0	5,038,555	97.5	18.6
2. 事 業 費	295,309,000	182,000,082	112,700,000	608,918	61.6	16.9
3. 公 債 費	692,914,000	692,912,735	0	1,265	100.0	64.5
4. 予 備 費	1,039,000	0	0	1,039,000	0.0	0.0
合 計	1,194,277,000	1,074,889,262	112,700,000	6,687,738	90.0	100.0

款別の支出済額では、公債費 6 億 9,291 万 2,735 円（構成比率 64.5%）が最も多く、次いで総務費 1 億 9,997 万 6,445 円（構成比率 18.6%）、事業費 1 億 8,200 万 82 円（構成比率 16.9%）の順となっている。

(6) 農業集落排水事業特別会計

①決算の概要

(単位:円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳 入	歳 出
平成 25 年度	429,828,000	429,783,331	421,865,292	7,918,039	100.0	98.1
平成 24 年度	413,250,000	400,260,612	392,820,190	7,440,422	96.9	95.1
比較増減	16,578,000	29,522,719	29,045,102	477,617	3.1	3.0
増 減 率	4.0	7.4	7.4	6.4	—	—

本年度決算額は、予算現額 4 億 2,982 万 8,000 円に対して、歳入決算額が 4 億 2,978 万 3,331 円（執行率 100.0%）、歳出決算額が 4 億 2,186 万 5,292 円（執行率 98.1%）で、歳入歳出差引額は 791 万 8,039 円となっている。

前年度と比較すると、歳入が 2,952 万 2,719 円（7.4%）の増、歳出が 2,904 万 5,102 円（7.4%）の増となっている。

②歳 入

ア. 歳入決算状況

(単位:円、%)

区 分	予算現額	調定額 (A)	収入済額 (B)	不納欠損額	収入未済額	収 入 率 (B) / (A)
平成 25 年度	429,828,000	432,863,602	429,783,331	0	3,080,271	99.3
平成 24 年度	413,250,000	403,309,816	400,260,612	0	3,049,204	99.2
比較増減	16,578,000	29,553,786	29,522,719	0	31,067	0.1
増 減 率	4.0	7.3	7.4	—	1.0	—

歳入の決算状況は、予算現額 4 億 2,982 万 8,000 円、調定額 4 億 3,286 万 3,602 円、収入済額 4 億 2,978 万 3,331 円、収入未済額 308 万 271 円、調定額に対する収入率は 99.3% となっている。

イ. 歳入款別決算状況

(単位:円、%)

科 目	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収入未済額	収 入 割 合		
						予 算 対 比	調 定 対 比	構 成 比 率
1. 分担金及び負担金	2,000	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
2. 使用料及び手数料	83,690,000	86,726,996	83,646,725	0	3,080,271	99.9	96.4	19.5
3. 県支出金	24,000,000	24,000,000	24,000,000	0	0	100.0	100.0	5.6
4. 財産収入	78,000	78,259	78,259	0	0	100.3	100.0	0.0
5. 繰入金	211,820,000	211,820,000	211,820,000	0	0	100.0	100.0	49.3
6. 繰越金	7,440,000	7,440,422	7,440,422	0	0	100.0	100.0	1.7
7. 諸収入	198,000	197,925	197,925	0	0	100.0	100.0	0.0
8. 市債	102,600,000	102,600,000	102,600,000	0	0	100.0	100.0	23.9
合 計	429,828,000	432,863,602	429,783,331	0	3,080,271	100.0	99.3	100.0

款別の収入済額では、繰入金2億1,182万円（構成比率49.3%）が最も多く、次いで市債1億260万円（構成比率23.9%）、使用料及び手数料8,364万6,725円（構成比率19.5%）の順となっている。

③歳 出

ア. 歳出決算状況

(単位:円、%)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率 (B) / (A)
平成25年度	429,828,000	421,865,292	0	7,962,708	98.1
平成24年度	413,250,000	392,820,190	15,500,000	4,929,810	95.1
比較増減	16,578,000	29,045,102	△15,500,000	3,032,898	3.0
増 減 率	4.0	7.4	—	61.5	—

歳出の決算状況は、予算現額4億2,982万8,000円、支出済額4億2,186万5,292円、不用額796万2,708円、予算執行率は98.1%となっている。

イ. 歳出款別決算状況

(単位:円、%)

科 目	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 割 合	
					予算対比	構成比率
1. 総 務 費	91,355,000	87,365,468	0	3,989,532	95.6	20.7
2. 事 業 費	38,510,000	37,537,500	0	972,500	97.5	8.9
3. 公 債 費	296,963,000	296,962,324	0	676	100.0	70.4
4. 予 備 費	3,000,000	0	0	3,000,000	0.0	0.0
合 計	429,828,000	421,865,292	0	7,962,708	98.1	100.0

款別の支出済額では、公債費2億9,696万2,324円(構成比率70.4%)が最も多く、次いで総務費8,736万5,468円(構成比率20.7%)、事業費3,753万7,500円(構成比率8.9%)の順となっている。

実質収支に関する調書

実質収支に関する調書

(単位：千円)

会 計 名		歳入合計	歳出合計	歳入歳出 差 引 額	翌年度へ繰越 すべき財源	実質収支額
一 般 会 計		15,680,119	15,410,010	270,109	14,039	256,070
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計 事業勘定	3,451,907	3,311,550	140,357	0	140,357
	国民健康保険事業特別会計 施設勘定	96,248	85,757	10,491	0	10,491
	後期高齢者医療特別会計	263,827	262,332	1,495	0	1,495
	簡易水道特別会計	99,310	95,493	3,817	0	3,817
	公共下水道事業特別会計	1,093,633	1,074,889	18,744	10,000	8,744
	農業集落排水事業特別会計	429,783	421,865	7,918	0	7,918
	計	5,434,708	5,251,886	182,822	10,000	172,822
合 計		21,114,827	20,661,896	452,931	24,039	428,892

(1) 一般会計

一般会計の歳入歳出差引額は 270,109 千円であり、この額から翌年度へ繰越すべき財源 14,039 千円を差引いた 256,070 千円が実質収支額となる。

翌年度へ繰越すべき財源の内訳は、6 款農林水産業費 県営林道開設事業費負担金 210 万円、県営林道開設事業 188 万 5 千円、地域水産物供給基盤整備事業負担金 136 万 8 千円、水産物供給基盤機能保全事業負担金 64 万円、広域漁場整備事業負担金 12 万 1 千円、8 款土木費 道路橋梁新設改良事業 200 万円、9 款消防費 地域防災計画策定事業 450 万円、11 款災害復旧費 公共土木施設災害復旧事業 88 万 2 千円、林道施設災害復旧事業 54 万 3 千円となっている。

(2) 特別会計

国民健康保険事業特別会計事業勘定、国民健康保険事業特別会計施設勘定、後期高齢者医療特別会計、簡易水道特別会計、農業集落排水事業特別会計はいずれも、歳入歳出差引額が実質収支額と一致している。

公共下水道事業特別会計の翌年度へ繰越すべき財源の内訳は、2 款事業費 公共下水道事業 1,000 万円となっている。

財産に関する調書

財 産 に 関 す る 調 書

公有財産、物品、債権および基金について、財産台帳、関係諸帳簿ならびに有価証券と決算年度末現在高を照合した結果、その計数は正確であると認めた。

財産の決算年度末現在高は、次表のとおりである。

1. 公 有 財 産

(1) 土地及び建物

(単 位 : m²)

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
行 政 財 産	土 地	2,015,447	31,496	2,046,943
	建 物	159,586	29	159,615
普 通 財 産	土 地	44,699,639	△3,165	44,696,474
	建 物	1,666	0	1,666

(2) 山 林

(単 位 : ha)

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
所 有		439.70	0	439.70
分 収		1,274.58	△ 4.26	1,270.32
合 計		1,714.28	△ 4.26	1,710.02

(3) 動 産

該 当 な し

(4) 物 権

(単 位 : 件)

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
鉱 業 権		9	0	9
合 計		9	0	9

(5) 無体財産権

該 当 な し

(6) 有価証券

(単 位:円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
株 券	25,517,200	0	25,517,200

(7) 出資による権利

(単 位:円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
出 資 金	46,065,000	△ 50,000	46,015,000
出 捐 金	78,611,630	△421,630	78,190,000
合 計	124,676,630	△471,630	124,205,000

2. 物 品

(単 位:台)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
物 品	143	3	146

3. 債 権

(単 位:円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
債 権	19,829,144	△4,093,841	15,735,303

4. 基 金

(単 位:円)

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
積 立	財政調整基金	1,824,305,000	532,368,000	2,356,673,000
	減債基金	57,767,000	△ 1,207,000	56,560,000
	地域振興基金	1,803,048,000	△41,179,000	1,761,869,000
	山崎科学教育振興基金	260,077,000	0	260,077,000
	白瀬南極探検隊記念館施設整備基金	183,207,000	102,000	183,309,000
	みらい創造基金	6,646,000	6,432,000	13,078,000
	観光振興基金	272,859,000	△ 6,179,000	266,680,000
	地域の元気臨時交付金基金	0	210,000,000	210,000,000
	国民健康保険財政調整基金	142,700,000	0	142,700,000
	国民健康保険診療所財政調整基金	121,236,000	△ 6,294,000	114,942,000
	農業集落排水事業減債基金	141,517,230	△ 5,818,741	135,698,489
運 用	奨学資金貸付基金	235,058,923	10,626,403	245,685,326
	特別導入事業基金	6,563,060	0	6,563,060
	象潟郷土資料館資料取得基金	10,000,000	0	10,000,000
	高額療養費資金貸付基金	6,000,000	0	6,000,000
	国民健康保険出産費資金貸付基金	3,000,000	0	3,000,000
合 計		5,073,984,213	698,850,662	5,772,834,875

基金運用状況

平成２５年度 基金運用状況審査意見

１．審査の対象

平成２５年度にかほ市奨学資金貸付基金
 平成２５年度にかほ市特別導入事業基金
 平成２５年度にかほ市象潟郷土資料館資料取得基金
 平成２５年度にかほ市高額療養費資金貸付基金
 平成２５年度にかほ市国民健康保険出産費資金貸付基金

２ 審査の期間

平成２６年７月３日から平成２６年８月１１日まで

３ 審査の方法

各基金の運用状況報告書の計数を預金証書、諸帳簿等により確認するとともに、関係職員の説明を求め、設置目的にしたがい、确实かつ効率的に運用されているかについて審査した。

４ 審査の結果

各基金とも設置目的に沿って適正かつ効率的に運用されており、計数は預金証書及び関係諸帳簿等と符合し正確であると認めた。

５ 各基金の運用状況

(I) にかほ市奨学資金貸付基金

(単位：円)

区 分	基 金 額		
	預 金 残 高	未 償 還 額	計
前年度末現在高	2,504,723	232,554,200	235,058,923
決算年度末現在高	4,704,426	240,980,900	245,685,326
年 度 中 運 用 状 況		繰 入 額	
貸 与 額	償 還 額		
44,410,000	35,983,300	10,626,403	

(2) にかほ市特別導入事業基金

(単位:円)

区 分	基 金 額		
	預 金 残 高	未 償 還 額	計
前年度末現在高	5,466,060	1,097,000	6,563,060
決算年度末現在高	5,811,060	752,000	6,563,060
年 度 中 運 用 状 況		繰 入 額	
貸 付 額	償 還 額		
376,000	721,000	0	

(3) にかほ市象潟郷土資料館資料取得基金

(単位:円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現金 預金	10,000,000	0	10,000,000
年 度 中 運 用 状 況		繰 入 額	
取 得 高	処 分 高		
0	0	0	

(4) にかほ市高額療養費資金貸付基金

(単位:円)

区 分	基 金 額		
	保 管 額	貸 付 残 額	計
前年度末現在高	5,786,000	214,000	6,000,000
決算年度末現在高	5,957,000	43,000	6,000,000
年 度 中 運 用 状 況		繰 入 額	
貸 付 額	償 還 額		
0	171,000	0	

(5) にかほ市国民健康保険出産費資金貸付基金

(単位:円)

区 分	基 金 額		
	保 管 額	貸 付 残 額	計
前年度末現在高	3,000,000	0	3,000,000
決算年度末現在高	3,000,000	0	3,000,000
年 度 中 運 用 状 況		繰 入 額	
貸 付 額	返 還 額		
0	0	0	

